

NPO 法人 純正律音楽研究会会報 ～2021年2月発行～

# ひびきジャーナル



〒168-0072 東京都杉並区高井戸東 3-2-5-102 Tel:03-5317-0291  
Fax:03-5317-0289 e-mail:puremusic0804@yahoo.co.jp

発行日 2021年2月15日  
発行責任者 NPO 法人 純正律音楽研究会  
編集 相坂政夫

## No.67



春の足音が聞こえてくるような今日この頃、会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。

昨年は1月頃からコロナの感染拡大が始まり、今年になっても、いまだに感染が治らず倍々と増えてきています。再度の緊急事態宣言発出、また1ヶ月の延長になり、何かと大変ですが、早く事態が終息することを祈るばかりです。

昨年のコンサートはほぼ中止になりましたが、年末の12月26日土曜日午後2時から、「LLCホール」で、デュオで楽しむヴァイオリン「癒しの音楽コンサート」として開催させていただきました。当日はお客様を100名様限定として、ヤマザキパン様のご協力で消毒、三密、マスク等対応をしていただき、来場の皆様のご協力もあり、無事終了いたしました。ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

尚、今年3月6日のコンサートは中止といたしました。今年最初のコンサートは6月5日(土)「けやきホール」でヴァイオリン・ハーブ・お箏の編成で開催いたします。また次のコンサートは9月25日(土)「LLCホール」での開催を予定しております。

まだまだ新型コロナウイルスの感染者が減っておりません。皆様どうぞお気をつけてお過ごしください。

今後とも純正律音楽研究会をよろしくお願ひ申し上げます。

## コロナ禍のレッスン・コンサート

洗足音楽大学教授・ヴァイオリニスト  
NPO 法人 純正律音楽研究会 代表  
水野佐知香

立春も過ぎ春の香りがいっぱい！我が家の梅も満開になってきております。桜の開花もチラホラ！マスク生活がそろそろ1年になろうとしています。毎日の感染者の数に最初の頃は一喜一憂していましたが、最近はあまりびっくりしなくなっています。慣れてしまっているのもどうかと思いますが！

皆さまおいかがお過ごしでいらっしゃいますか？

私は、また一つ歳を重ねてまた若返りました。あっという間に時が流れてびっくりです。

昨年の12月には、久しぶりにハーブの三宅美子さんとのコンサートができ、純正律の玉木さんの奥様、相坂事務局長、椿さんなど、いつものメンバーにお目にかかることができました。また、お客様にも久しぶり！皆さま、涙を流して喜んでくださいました。奥様のご友人も来ていただき、とても感激してくださいました。

やはり音楽は素晴らしい！玉木さんも会場で聴いてくださっていたような気がしました。今年こそは世の中が安定し、コンサート等のキャンセルがないようにしたいものです。

海外にも自由に行けない、国内でも皆様我慢の毎日！でも、事務局が、今まで玉木さんがレコーディングした多くの楽曲をフェイブックなどで流してくれています。沢山の癒される曲ばかりです。ぜひお聴きいただき、宣伝していただけるとうれしいです。また、YouTubeの登録も是非お願いいたします。音楽で世界平和を！純正律のハーモニーを聴いて元気になってもらいたいと思っています。

私は、コロナ禍ではありますが、感染に気をつけながら、大学でのレッスン、合奏授業等、後期はいつも通りしています。

ただいつもとちがうのは、使った譜面台、椅子などを毎回消毒すること、時間を決めて換気をすること、コンサートでは同じマイクでインタビューをしない、つまり、ひとつのマイクでの使い回しをしないなど、気をつけて行っています。

学生たちはコロナを気にしながらも忙しく、とても生き生きしています。ただ、試験などは、コロナが怖くて出られない、帰省したままの方はWEB審査など、コロナ禍になり、いろいろ変わってきたところも多々あります。レッスンも、地方の方はWEBです。

ただ思うことは、いつもニコニコ、「ありがとう」と思うことで、暮らし方が変わるのでは？

マスクをしていると口角が下がり表情が見えなくなっていますが、「笑う門には福来る」いつも明るく、ニコニコ！

とにかく明るく、ニコニコする事で、コロナさんとお別れが出来るかもしれません。楽しく過ごしたいと思います。

皆様コロナに負けないで、お元気で過ごしてください。

**ムッシュ黒木の純正律講座 第 66 時限目**  
**平均律普及の思想的背景について(55)**  
純正律音楽研究会理事 黒木朋興

前回、人文科学系、社会科学系や自然科学系の違いに関わらず、様々な資料＝データを整理し分類することが科学的作業の第一歩であり、研究者の業務内容であることを述べた。今回は、その中でも自然科学について述べてみたい。

自然科学系の特徴はデータに数字を多用することだと言えよう。実験したり観察をしたりして、数値という形でデータを取るのである。対して、人文科学系、特に文学研究は数値を使わない傾向が強い。ここから数値を用いて客観的に証明を行っていく自然科学系と結局は感想の域を出ない人文系の対比という紋切り型が生じることとなった。

しかし、数値でデータを取れば確実に客観的な証明ができるというわけではない。そもそも、このような数値＝客観性と見なすことは実験物理学をもとにした科学観に他ならないのだ。分かり易い例を示せば、富士山の標高の 3,776 メートルだとか、絶対零度の $-273.15^{\circ}\text{C}$ などは、誰が見ても同じ価値を持つ数値である。だが、自然科学の中でもこのような他に余地のない客観的で一義的な数値で証明を行える領域は極一部ののだ。

実のところ、自然科学を含め大半の科学は統計学を用いて証明を行なっている。つまり確率である。ということは、証明が正か誤のどちらかにきっちり分けられないということだ。例えば、インフルエンザやコロナのワクチンを打ったところで 100%感染を防げるものでもなければ、副反応を起こして逆に健康を害することもある。

統計を用いた証明には、閾値という値が設定されており、これは複数回のデータをとってその確率が閾値より高ければ証明されたと見なされるという方法だ。閾値より値が高いことを有意という。ここで言う証明とは、100%か0%が明らかにされるわけではなく、あくまでも効果がある確率が高いことが証明されるだけなのである。また、閾値を下回っても正であることが明らかになった事例もあるという。

特に、医薬品の場合、薬と症状の緩和という効果の因果関係は証明されず、相関関係のみが証明されただけで認可が下りるケースが多数であることも言添えておく。

まず、相関関係について説明しておこう。プランターに植物を植えたとする。そして毎日お祈りをしてから水をやることにする。ところが出張で1週間家を開けている間にその植物は枯れてしまった。当然、水をやらなかったから枯れたわけだが、と同時にこの場合、お祈りをしなくなったことと枯れたことにも相関関係があることになる。もちろんこの極端な例のように、明らかにただの相関関係しかない場合には証明にはならない。なので、A という行為と B という現象がただの相関関係なのか、それとも因果関係がありそうなのかについては更に慎重な分析と議論が必要となる。ただ重要なのは、因果関係が完璧に明らかにならなくとも、証明されたと見なされるケースが多々あるということだ。実のところ、科学的に因果関係を証明することは大変手間がかかりとても大変な作業となるので、薬の認可など少しの遅れが多なる被害を引き起こしてし

もう領域では、迅速な対応を優先するため予防措置として因果関係の完璧な証明を待たずに有意とされることが多いというわけだ。

また、水をやらなければ植物が枯れるという因果関係ははっきりしているが、どうすれば植物がよく育つかを考えるとすると、要因は水だけではない。土壌の栄養状態、日当たりや気温などが複合的に絡み合っている。それら複数の事項の観察結果を総合的に分析して植物の生育という現象を追っていくことになるわけで、事態は正しいか誤っているかの二項対立で割り切れるほど単純なものではないことが分かる。気象学、天文学、地震学、火山学等々、実験・観察項目は膨大で、しかも複数のデータをどのように組み合わせるかを議論を立てていかなければならないということを考えれば、科学の証明というものが極めて厄介で複雑なことが分かるだろう。

ここで重要なのが、どのような項目を立てデータを取り、どの指標を選んで議論を組み立て解釈していくかという作業なわけで、実験・観察をしてデータが得られればお終いというほど単純な作業ではないし、山の標高や絶対零度の値のように一義的に決まるものでもないのである。

## 音の自然食（ミネラルミュージック）を

純正律音楽研究会 初代代表  
玉木宏樹遺作

ウィーン少年合唱団のような天国的に美しい純正律和音の響きを再発見し、  
<音の自然食>運動の輪を広げよう。  
純正律音楽こそが、究極のヒーリング・ミュージックである。

### 1、「音の自然食を」

これが、今回のモットーです。

ピアノ、ギター、オルガン、プリセットシンセサイザー（すでにいろんな音を用意されているシンセサイザー、エレクトーンにも共通性がある）等が使っている音階は、人工的で不自然な「平均律」音階です。

これに対し、コーラス、弦楽器、ブラスアンサンブル（ブラスバンドの室内楽版）等、自分で微妙な音の高さを調整できる分野は本来、天国的に美しい「純正律」の世界でした。カラヤン、バーンスタインなきあとの現在の欧米では、すさまじいまでの「純正律」復古運動の嵐が吹き荒れています。

たとえば、アイルランド系歌手エンヤとか、おなじみカーペンターズのような「いやしの音楽」が現代人に共感を呼ぶのも「純正な」音への回帰が底流にあるからなのです。

天国的に美しい協和の極致「純正律」こそ「音の自然食」なのです！

### 2、「純正律とは」

「ピアノの音階は狂っている」、これは紛れもない事実です。もう少し補足すると、ピアノの音階は平均的に狂わせている。これが「平均律」の正体です。ナニナニ、そんなことを言うと調律師が気を悪くして怒りだすんじゃないだろう

かって....ご心配無用。調律師はそんなことは先刻百も承知。彼らの商売はいかにうまくピアノの調律を狂わせるか競い合うことよってなりたっているのです。

ヴァイオリンの調弦は純粹に美しい完全5度（ドとソ、つまりドから数えて五番目のソとの音程関係で、レならラ、ミならシの音程は、耳ではっきりわかる美しい協和関係を作ることができます。その関係を完全五度といいます）を<自分の耳>でたしかめながらやります。

それにくらべ、ピアノの調律はまず純粹に美しい完全五度を<自分の耳>でつくるのまでは同じなのですが、ここから、とんでもない作業が待ち受けています。つまり、ほんの少しですが五度上の音を低くし、不協和のうなり。つまり音の濁り（ビート）がでるように再調整するのです。

なぜそんなことをするのか、結論から言うと、そうしなければオクターブを単純に12等分することができないからです。この、オクターブを十二等分するということが「平均律」なのです。今のピアノは、白鍵と黒鍵とを合わせて十二個ですが、これでは到底美しい和音は出ません。もっと細分化して、二十等分、三十等分にすることは出来ませんが、人間の指は十本しかないので演奏が大変困難になります。だから、音の美しさを犠牲にして演奏を易しくするために妥協したのが「平均律」なのです。

ピアノの完全五度は完全ではなく不完全なのです。

『ピアノと平均律の謎』調律師が見た音の世界（白揚社刊）という本があります。そこに次のような前文があります。

ピアノ調律の初心者は、まず何をおいても「加減を設定しなければならない」と教えられる。これは、ピアノ中央のCのエリアで主に5度、4度、長3度といったある一定の音程を調律しなければならない、ということの意味する。それぞれがほんの少しずつ調子はずれになるようにするのである。すでに150年ほどにわたってピアノ（ピアノは250年くらい前にできた）に使われてきた平均律という調律システムでは、どのくらい調子はずれにすることが「決まり」になっているのだろうか？ほかの楽器ではこんな調律のしかたはしないですむ。

ここには二つ重要なことが記されています。一つは、ピアノは調子はずれに調律するという事、それが平均律であるということなのです。もう一つ重要なことは平均律はたかが150年前からしか使われていないということです。ではピアノが作られてから100年のあいだはどういう調律が使われていたのでしょうか。決して純正律ではありません。主に「中間音律」という方法が使われていました。これは純正律と平均律との間だと思っても構わないでしょう。しかし、平均律と中間音律には決定的な違いがあります。それは長3度つまり「ド」に対する「ミ」の高さです。平均律の「ミ」はあまりにも高過ぎ、非常に不快なうなりを生じます。

大衆消費資本主義にとって、単純に平均化した調律しやすい狂いは、ピアノの大量生産にとって最大の武器となりました。悪貨は良貨を駆逐するの例えのとおり、狂って濁った平均律の「ドミソ」が、本来の天国的に美しい純正律の「ドミソ」を追放してしまったのです。

大体人間の耳はオクターヴの間を12の音しかわからないほど出来は悪くありません。色彩にしても何万色も使い分けているのですから。

敢て極端な比喻をすると、漢字を極端に制限して、教育用漢字の10分の1くらいの分量で日本語を表記しなさいと言っているようなものともいえるのです。

但し私は、別にピアノの敵ではありません。平均律のピアノにはそれなりの十分な存在理由があり、名曲も無数にあります。しかし平均律の陰で忘れ去られた純正律を広く一般の人に知ってもらいたいとの願いをこめているのです。

たとえば、現代の発達したシンセサイザーは、自由なチューニングができるようになりました。最近のシンセサイザーのほとんどは、「純正律」を搭載しているほど精緻になっています。

### 3、「間違いだらけの日本の音楽教育」

日本人の大半はクラシックのプロもふくめ、純粹に美しい本当の「ドミソ」を知りません。音楽大学の教授すら知らないのですから仕方ないことかも知れませんが.....なぜこんなことになったのか？

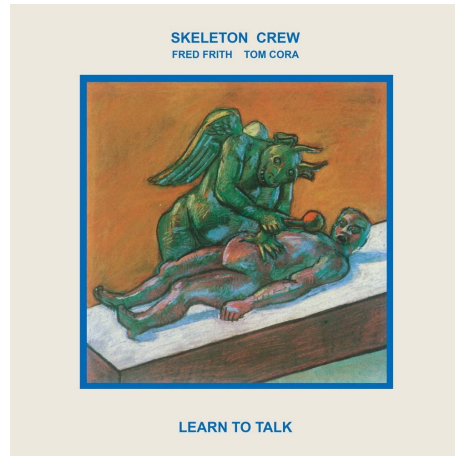
実は西洋のクラシックが平均律を採用するためには延々と積み重ねてきた調律の歴史があり、その結果、自由な転調（ハ長調から他の調、つまり、ト長調やニ長調などに自由にかわること）を優先させるために、協和の美しさを犠牲にしても、より機能的な平均律を採用したのですが、日本の音楽教育では、この平均律以前の長い時代の音階のことは一切教えないのですから、みんなが知らないのは当たり前のことなのです。ピアノだけの平均律だけに慣れてしまっている人に「純正律」を聞かせても最初は当惑し、「変だな!？」といます。ウィーン少年合唱団なら綺麗だと思うのに、ピアノだと「おかしい!？」というのです。そこまで日本人の聴覚がひずんでいるといってもいいすぎではないでしょう。

こういう音楽教育の間違いから起こった日本の音楽界の「世界から見た非常識」のかずかずがあります。

#### 「間違いだらけの日本の音楽教育」

- A. ニセモノの「ドミソ」を完全なものとして教えている現状は、人間の聴覚をおかしくする教育である。
- B. ピアノは楽器の王様ではない。そういうことをいうと、必然的にピアノが現れる以前の音楽をおろそかにし過ぎる傾向になる。その反動として純粹なものへの回帰、つまり現在の古楽ブームがある。
- C. 日本の音感教育の根本的な間違い。ピアノに頼っては、いい耳は育たない。「絶対音感」という迷信の正体を解明する。
- D. バッハは「音楽の父」ではない。「平均律曲集」という名前は翻訳が間違っている。本当の題名の意味は「ほどよく調律されたクラヴィアのための曲集」であり、平均律のためではない。バッハ時代に平均律はなかった。バッハはヴェルクマイスター調律のために作曲したのである。

CD レビュー 純正茶寮  
『Learn to Talk』 (1984)  
純正律音楽研究会理事 黒木朋興



『Learn to Talk』 (1984)  
Skeleton Crew  
レーベル : Rer  
ASIN : B07PXD8XZC

またしてもロックである。前衛ロックギタリストとして名高いフレッド・フリスとロックチェリストのトム・コラによる Skeleton Crew (骸骨乗組員) のファーストアルバムである。ノイズミュージックの傑作であり、よもやこの欄で紹介するとは思っていなかった。しかし、Facebook で David Bryant 氏が紹介していたのを機に久しぶりに聴いてみたところ、改めてトム・コラのチェロに聞き惚れてしまった。クラシックではまず耳にすることのない荒々しいタッチが特徴的である。元来ロックの愛好者なので、特に気にしていてもなかったが、クラシックの演奏を聴くようになるにつれ、トム・コラのタッチが独特であることに気がついた。

このアルバムの中でも「We're Still Free (私たちは今なお自由)」を取り上げたい。ハーディーガーディーのドローンのような和音の響きから始まり、独特なタッチによるメロディは平均律ではなく彼の独自の音律と言っても良いだろう。

なお、ヴォーカルラインは単調そのもの、パーカッションとチェロの伴奏をバックに政治的メッセージを捲し立てる類のものだ。「現在でもアメリカには自由があるのか？」と問いかける彼らの政治姿勢に違和感を感じる人にはつまらなく感じるかもしれない。ここで David Bryant 氏が FB に記した言葉を引用してみたい：「I was born an American. Born free. And for these past 46 years I've never had to get up in the morning. Thank God for freedom! (私はアメリカ人として生まれた。自由に生まれた。この 46 年間、朝起きる必要がなかった。自由を与えてくれた神に感謝!)」

トム・コラは1998年に皮膚癌で亡くなっている。今のアメリカを見たら、彼は何と言うのだろうか？

## キリスト教修道会の概要

純正律音楽研究会 正会員  
弁護士 齋藤 昌男

### 目次

- 第1. 緒論
- 第2. モンテ・カッシーノ（ベネディクト会）
- 第3. クリュニー会
- 第4. シトー会
- 第5. カルトウジア会
- 第6. フランシスコ会
- 第7. ドミニコ会
- 第8. アウグスチノ隠修士会
- 第9. カルメル会
- 第10. イエズス会
- 第11. マリア会（男子修道院）
- 第12. サレジオ会
- 第13. 神の愛の宣教者会
- 第14. アトス山
- 第15. モン・サン・ミシェル（Mont St. Michel）

### 第1. 緒論

- (1) キリスト教自体がまず地中海東部で発展したように、キリスト教修道会もまず地中海東部（エジプトおよびシリア）で成立を見えています。3～4世紀エジプトのナイル河畔の砂漠で祈りと修道に励んだ修道士達が次第に特定の指導者のもとに集まり、共同生活を始め、独自の修道院と生活規則を持つようになりました。
- (2) そのなかから決定的な基礎づけをなしたのは、6世紀の初めにイタリアのモンテ・カッシーノに修道院を建てたベネディクトゥスで、彼の会則は、その後の諸修道会の会則に大きな影響を及ぼしました。
- (3) 17世紀から顕著となった功利主義思想の普及とともに、修道士を非生産人口として、その存在に対して批判をする論調が出はじめました。

1781年ハプスブルグ家の皇帝ヨーゼフ2世が、法令によって社会扶助や教育・研究に従事しない修道院を廃止するように決めました。この結果、神聖ローマ帝国内では700以上の修道院と35,000人の修道士が減少しました。

しかし、この同じ時期に、修道院には新たな指向のもとに、再生する傾向がありました。所謂、反宗教改革（Counter Reformation）で、カトリックは修道院での学術活動を活発化させたのです。いずれに致しましても、



修道院の活動を理解すること無しに、キリスト教文明を理解することは無可能です。

## 第2. モンテ・カッシーノ (Monte Cassino) (ベネディクト会)

ヌルシアのベネディクトゥス (Benedict of Nursia 480頃—550頃) は、「西方修道制の創始者」と呼ばれる人物です。彼はローマ社会の放縦さを見て、500年頃に隠修士として生きるためにスビアコ (Subiaco、ローマの東約64kmの町) の洞窟へ隠遁しました。彼のまわりに共同体が自然に出来上がり、数多くの修道院を建てたとされており、司祭らの嫉妬を受けたため、彼は529年頃に少人数の修道士をつれてモンテ・カッシーノへ移りました。

モンテ・カッシーノ (Monte Cassino) は、イタリア共和国ラツィオ州カッシーノ市郊外に位置する岩山 (標高519メートル、ローマとナポリのほぼ中間) で、ここで彼は修道制を改革する計画を練り上げ、有名なベネディクトゥスの戒律が執筆され西方修道院の起源となりました。その写字室は特に有名です。

モンテ・カッシーノの不幸は、同地が戦略上の要地に位置していたため、たびたびの戦災をこうむりました。例えば、1799年には、イタリアに侵攻したナポレオン・ボナパルトによって破壊されています。第2次世界大戦末期に大激戦地となり、建物は連合軍の攻撃により大破しました。戦後、1964年に献堂式が行われ、17世紀の建物を模して再建されました。

モンテ・カッシーノ修道院には古代以来数多くの貴重な写本 (キケロやセネカなどの書物を含む) や資料・芸術品が残されていましたが、モンテ・カッシーノの戦いの前に、何とドイツ占領軍の手によって、バチカンへ移送されていました。

なお、1944年のモンテ・カッシーノの戦いには、日系人の編成されたアメリカ軍の第100歩兵大隊が投入され、賞賛されています。この部隊は、上院議員を務めた故ダニエル・ケン・イノウエ氏の所属した第442連隊とは別の部隊です。歴史にとどめるために記しておきますが、第2次世界大戦中、約33,000人の日系二世がアメリカ軍に従軍し、そのほとんどは、第442連隊戦闘団、第100歩兵大隊、アメリカ陸軍情報部の3部隊のいずれかに配属されました。

## 第3. クリュニー会 (ラ) Ordo Cluniacensis (英) Cluniac Order

1. 設立年 909年ないし910年
2. 設立者 アキテーヌ公ギョーム1世、院長はベルノ
3. 修道士による修道院長選出、司教権からの免属、教皇への直属
4. 所在 フランス、ブルゴーニュ地方

その後、プロヴァンス、オーヴェルニュ、スペイン、イタリアといったロマンス語地域に広がり、またイギリスにも至りました。12世紀から14世紀にかけて1000以上もの修道院を管轄しました。

5. 中世末期になるとシトー会、フランシスコ会、ドミニコ会などの修道会生活刷新運動の影響でクリュニー会は凋落をはじめ、フランス革命に際してクリュニー修道院が破壊されました。
6. ブルゴーニュの赤ワインであるロマネ・コンティの畑は、クリュニー会

派の修道院が開墾したのがはじまりであり、16世紀まで同修道院の所有でありました。モンラシュ (Montrachet) と称される辛口白ワインの畑もクリュニー会派の修道院が開墾したものです。

#### 第4. シトー会 (Cistercian Order)

1. 聖ロベルトウス (Robert, St.) は、15才で修道士となりました。1075年に、彼の指導の下に入ることを望んだ数人の隠修士のために、ブルゴーニュのモレーム (Molesme) に修道院を建てました。分裂がその共同体で起ったとき、ロベルトウスと数人の修道士は、1098年にモレームを去ってシトー修道院を建てました。ロベルトウスは、およそ1年の後に教皇ウルバヌス2世により、「新修道院」を去り、彼の本来の修道院長の職務に復帰するよう強要されました。しかし、シトー会は、アルベリック修道院長の下で共同体は存続しました。この共同体は1100年の教皇特権によって外部からの介入が保護され、ベネディクト会の一分派への発展が始まり、シトー会という分派が出来ました。

2. 一方、ベルナルドウス (クレルヴォーの) は、1112年にシトー修道院に入り、3年後にクレルヴォー (Clairvoux) に新しい修道院を建てるために派遣され、シトー会の4番目の修道院が創立されました。

1128年にトロワ教会会議で、ベルナルドウス自身が起草したといわれるtemplar騎士団の会則が承認されました。

1145年に、シトー会員でベルナルドウスの弟子であったエウゲニウス3世が教皇に選出されました。ベルナルドウスの教皇庁の関係は、一層緊密になり、晩年には第2回十字軍を勧説しました。

またベルナルドウスは、ユダヤ人を迫害することに反対した点で、同時代の人から突出していました。

#### 3. トラピスト会

フランス革命はフランスと近隣諸国の全修道院だけでなく、その中央集権的体制をも破壊しました。1790年～91年に、シトー修道院と「父修道院」が消滅したため、ラ・トラップ修道院が同会に残った唯一の男子修道院となりました。その1892年に、3つのトラピスト修族は結合し、新しい独立した修道会として認可されました。1902年にシトー会が彼等の本院となってから、改革シトー会 (Reformed Cistercian) と呼ばれます。男子トラピスト会が1896年来日、北海道上磯町など2カ所、女子は1898年来日、函館など5カ所に修道院があります。

4. 文化面でのシトー会の業績を見ると、法学の研究があります。1339年～1342年にコルバツの修道院長ヨハネスが、最初の法律の摘要書を作成しました。近代のシトー会士たちは、一層集中して法律の研究に専心し、特に修道会特権の確定が明確な研究の対象となりました。

5. 変わったところでは、シトー会のトベラン修道院は、既に1200年以前から製塩所を所有しております。

#### 第5. カルトウジア会 Ordo Cart(h)usianis

1. 設立年 1081年
2. 設立者 ケルンのブルーノ (フランスにて設立)
3. 種類 カトリック隠修士修道会
4. 目的 観想生活

5. 1081年ケルンのブルーノはランスでそれまで築いた地位を捨て、修道生活を追い求めて遍歴をはじめました。ブルーノは幾つかの修道院に滞在し、また設立をしましたが、最終的には、グランド・シャルトルーズ（グルノーブルの北に位置するフランス・アルプスへ続く山塊）の、ほとんど道のないような山の中に居を定めました。この標高1180メートルの場所に、ブルーノは1084年初夏、6人の同志と共に、礼拝堂を建てたのが始まりです。
6. ブルーノは、教皇ウルバヌス2世の懇請に従うために、シャルトルーズを去らねばなりませんでしたが、ブルーノのかつての弟子であった教皇は、叙任権闘争のために大きな苦悩の中にありました。ブルーノは終生シャルトルーズへ戻ることはなく、もう一つの庵室であるサンタ・マリアを建て、ここで1101年10月6日に、この世を去りました。
7. カルトウジア会は、18世紀の初頭には295の修道院を持っていましたが、啓蒙主義の時代に入ると批判と攻撃にさらされ、20世紀中ごろまでにヨーロッパ全域で19に留まる修道院数に減少しました。
8. 一つ面白いのは「シャルトルーズ」というリキュールは、この修道会で作られ1605年まで遡るそうです。もう一つは、オーデコロンのは作り方は、カルトウジア会士によるものであると書いてあるものもあります。

第6. フランシスコ会（ラテン語）Ordo Fratrum Minorum  
（英語）Ordo of Friars Minor

1. 略称 OFM
2. 設立年 1209年
3. 設立者 アッシジのフランチェスコ  
Francis of Assisi, St.  
(1181-1226)
4. 本来は、動産・不動産いっさいの財産取得と所有の禁止を盛り込んだ托鉢形式の福音活動が実践される修道会、即ち托鉢修道会
5. 関連組織  
クララ会（女子修道会）  
フランシスコ第三会（在俗会）  
コンベンツアル聖フランシスコ修道会  
カプチン・フランシスコ修道会
6. 創立者フランチェスコは、アッシジの裕福な商人の息子でありました。1202年に境界の小競り合いで捕虜となり、1年間獄中にありました。その後ローマへ巡礼に行った彼は、物乞いと衣服を交換し、物乞いをしてその日を過ごしました。アッシジへ戻って、古い仲間とのつきあいをやめ、父親から勘当されました。ハンセン病者を抱擁することでその病に対する恐怖心を克服し、廃墟となっていた教会堂の修復に没頭しました。
7. 1215年にはアッシジの有力貴族の息女でありながら、家を飛び出してフランチェスコにしたがったキアラ（クララ）を中心に、第2修道会（女子修道会）が活動を始めました。
8. 神学研究  
フランチェスコ自身は「心貧しいことこそ神の御心にかなう」と主張し、修道士に学問や書籍は不要とさえ述べていました。しかし、フランシスコ

会は、一方では、説教活動を中心にすえており、また異端思想との対決の必要から、神学的知識が必要とされました。

アレクサンデル（ヘールズの）(Alexander of Hales) (1186頃－1245) は、フランシスコ学派の祖とされていますが、彼のもとに学んだドミニコ会の修道士トマス・アクイナス (Thomas Aquinas, St. 1225頃－1274) とフランシスコ会のボナヴェントウラ (Bonaventure, St. 1217頃－1274) がいます。この流れをくむ者としてロジャー・ベーコン (Bacon, Roger 1214/20頃－1292) がいます。ベーコンは、1257年頃に、おそらくオックスフォードでフランシスコ会に入会したとされ、イギリスの経験主義哲学の基礎を築いた人です。

#### 9. 組織

男子の第一会は、フランシスコ会、コンヴェントゥアル会、カプチン会の3つに分かれており、アッシジのクララを共同創立者とする女子の観想会の第二会 (クララ会)、信徒を構成員とする第三会 (在世会) があります。後に第三会から、誓願を立てて共住の修道生活を営む律修第三会が成立し、その他無数の修道会がフランシスカン・ファミリーを構成しています。

10. 日本では1593年ペトロ・パウテイスタを皮切りに、17世紀なかばまで60名あまりが伝道に従事しました。秀吉ついで江戸幕府の禁教政策の下で、ほぼ半数が殉教しました。

11. アウシュヴィッツの殉教者コルベはコンベンツアル会員として長崎で活動した人です。

#### 第7. ドミニコ会

1. 正式名称 「説教者修道会」

略称 OP

2. 設立 1206年 (1216年にローマ教皇ホノリウス3世によって認可)

3. 設立者 聖ドミニクス  
(ドミニクス・デ・グスマン)

4. 種類 托鉢修道会

5. 重要人物 アルベルトウス・マグヌストマス・アクイナス

#### 6. 概要

(1) 神学の研究に励み、学者を多く輩出したドミニコ会は異端審問の審問官に任命されることが多くありました。

(2) ドミニコ会員は、東半球や西半球でポルトガルやスペインの探検隊に随行して宣教活動を行っています。

(3) 19世紀の後半には反教會的な風潮に押されてドミニコ会は著しく衰退し、修道院や管区さえも失いました。しかし、その後フランスから刷新運動が起こりヨーロッパとカナダへ波及しました。またスペインの植民地だったフィリピンも中世以来ドミニコ会の重要な活動拠点となっており、現在に至っており、フィリピンはカトリック国と言えます (93パーセントがキリスト教徒)。

(4) 日本での活動

1600年、教皇クレメンテス8世は、それまでイエズス会のみ認可されていた日本での宣教活動を正式にすべての修道会に認めました。日

本へは1602年宣教団が上陸した後、1612年に禁教に伴う迫害、殉教により一旦関係が途絶えていましたが、20世紀に入ると、1904年にロザリオ管区（本部マニラ）、1911年にはカナダ管区が相次いで来日しました。現在、日本管区というものはなく、東日本を担当するカナダ管区と、西日本を受け持つロザリオ管区地域を分担して司牧しております。

## 7. 異端審問

神学の研究に励み、学者を多く輩出したドミニコ会は、異端審問の審問官に任命されることが多くありましたので、ここで異端審問について触れておきます。

異端審問（ラテン語：Inquisitio）とは、中世以降のカトリック教会において、正統信仰に反する教えを持つ（異端である）という疑いを受けた者を裁判するために設けられた制度であります。魔女狩りは異端審問の形式を一部借用しておりますが、異端はキリスト教徒でありながら、誤った信仰を持っている人に対し、魔女・魔術師（魔法使い）は、そもそもキリストを信じないとされる人々に対するもので、異端審問とは別種のものと考えてのが適切であるとされています。いずれにしても、異端審問によって、キリスト教神学は徐々に理論化されて来ました。

異端審問と言っても、中世初期の異端審問、スペインの異端審問、ローマの異端審問の三つに分けられます。

12世紀に「中世の異端審問」と呼ばれる最初の異端審問が始まったのは、南フランスにおいてカタリ派がその影響力を拡大したことが直接の契機でありました。

スペインの異端審問は、15世紀の終わりになって、アラゴンのフェルナンド2世とカスティーリヤのイザベル1世の結婚によってスペインの連合王国が成立したことに端を発します。当時のスペインにはキリスト教に改宗したイスラム教徒（モリスコ）やユダヤ教徒（マラノ）たちが多くいたため、国内の統一と安定のために異端審問機関の設置を教皇に願い出たものでした。結果としてスペインの異端審問は多くの処刑者を生んだことで、負のイメージを決定付け、暗い影を落すことになりました。

## 第8. アウグスチノ隠修士会 (Augustinian Hermits or Friars)

1. 現在の正式名称「アウグスチノ会」  
(Order of the Brothers of St. Augustine)、  
略称OSA
2. 設立 1256年  
隠修士のさまざまな修道会が統合して形成された。
3. 種類 托鉢修道会
4. 14世紀には西欧各地に24管区、350の修道院が建てられました。  
しかし、14世紀の後半には、ペストの猛威と、1378年から1414年にかけては教会分裂によって規律の弛みが顕著になりました。
5. マルティン・ルターは、1505年以来、この修道会に属していました。  
マルティン・ルターの「95箇条の提題」、そしてとりわけ修道誓願に抗する著作の刊行（1521/22年）は、エアフルトとヴィッテンベルグの多数の同僚が修道院を去る誘因となりました。そして当時ドイツ管区内にあったアウグスチノ隠修士会修道院のうち69が失われました。

6. その後、啓蒙主義とフランス革命のために修道会は甚大な損失を蒙ることになりました。1802年以降の世俗化によって、隆盛を誇ってきた3つのドイツの管区が、ミュンナーシュタット修道院とヴェルツブルグの施設のみを残して消滅しました。ポルトガルでは1834年にすべての修道院が、スペインでは1835年、ポーランドでは1864年、そしてイタリアでは1873年に、ほとんどすべての修道院が閉鎖されました（八坂書房発行、修道院文化事典、430ページ参照）。
7. しかし、アウグスチノ会について言えば、16世紀以降は、アメリカ、アフリカ、アジア宣教に向かい、現在400余の修道院を世界各地に有しているとのことです。

#### 第9. カルメル会 (Carmelite Order)

1. 設立年 12世紀パレスチナで設立されました。
2. 設立者 不詳
3. カルメル山は旧約聖書の「列王記上18章」で預言者エリアがバアル(注.セム族の神々)の預言者たちと対決し、勝利したことで知られているところです。
4. 概要
 

1226年に教皇ホノリウス3世が認可したことで正式に修道会として成立しました。13世紀に東方と西方の乖離が進んだため、カルメル会士たちは、カルメル山を離れてシチリアとキプロスに修道院を設置しました。その後、イギリスなどヨーロッパに進出し、1259年にはルイ9世の援助によって、パリにカルメル会修道院が設置されました。

15世紀に入ると女子カルメル会が誕生し、ほぼ同時代に、カルメル在世会も誕生しました。
5. 跣足カルメル会の分離
 

改革されたカルメル会は従来のカルメル会から分かれ、跣足カルメル会として歩み出しました。日本のカルメル会(男子、女子、在世会)は、みなこの改革された跣足カルメル会に属します。
6. 日本の男子カルメル会は、中国大陸に宣教のために派遣されていたイタリア管区のカルメル会士達が、大陸を追われ1951年に来日したのが始まりです。現在、下記の地に修道院があります。
 

東京・上野毛、名古屋・日比野、京都・宇治、石川・金沢
7. 跣足カルメル会は、2015年3月28日にアヴィラのイエスの聖テレジアの生誕500周年を迎え、新たな時代へ歩みを進めています。

#### 第10. イエズス会 (Jesuits) (The Society of Jesus)

1. イエズスは、中世ラテン語による Iesus (イエス・キリスト) の古くからのカトリックの日本語表記です。
2. 略称 SJ
3. 設立年 1534年8月15日
4. 設立者 イグナチオ・デ・ロヨラ  
(1491-1556)  
フランシスコ・ザビエル  
(1506-1546)  
他5名

5. 1534年8月15日、パリ郊外のモンマルトルの丘の中腹のサン・ドニ大修道院教会堂（現在のサクレ・クール寺院の場所にあったベネディクト女子修道院の一部）に集まり、ミサにあずかって生涯を神にささげる誓いを立てたことに始まります。

6. イエズス会の活動分野は三つに絞られます。第一は高等教育で、イエズス会員は神学だけでなく古典文学にも精通していることが特徴です。第二は、非キリスト教徒を信仰に導く宣教活動です。第三は、プロテスタントの拡大に対するカトリックの「防波堤」になることです。イエズス会員の精力的な活動によって、南ドイツ、ポーランド、オーストリアなどのプロテスタンティズムは衰退し、カトリックが再び復興しました。

7. 日本への進出

(1) フランシスコ・ザビエルは、1541年にインドのゴアへ赴きました。当時、インドのゴアは、アジアにおけるイエズス会の重要な根拠地でありました。ザビエルはインドにおいて多くの信者を獲得しました。そしてマラッカで出会った日本人ヤジローの話から日本に興味を覚え1549年に来日し、日本には2年間滞在しました。ザビエルの渡日以来、1640年代半ばまでに約310名の会員が宣教活動に従事し、最盛時には、約60万人の信徒の司牧にあたったそうであります。

(2) 近代に入り、1908年に3名の会員が渡来して、1913年に上智大学を創立しました。そしてイエズス会系の日本にある教育機関は以下の通りです。

- ア. 上智大学
- イ. 六甲学院（神戸市）
- ウ. 栄光学園（鎌倉市）
- エ. 広島学院（広島市）
- オ. 上智福岡中学校・高等学校（福岡市）
- カ. エリザベト音楽大学（広島市）

8. 現代のイエズス会

(1) イエズス会は会員数20,000人、活動地域は六大陸112カ国に及ぶ世界で二番目に大きいカトリック男子修道会であります。

特にラテン・アメリカでは解放の神学の熱心な推進者として多くのイエズス会員が知られています。解放の神学は時に微妙な政治の領域に踏み込む危険があるためカトリック教会において物議をかもし出してきました。

(2) そんななか、2013年3月13日、イエズス会出身のホルヘ・マリオ・ベルゴリオ枢機卿（ブエノスアイレス大司教）が、第266代ローマ教皇に選出されました。イエズス会としては、初めての教皇だそうです。

(3) 現代において、イエズス会員は、過度に進歩的と批判されることがあります。人工妊娠中絶手術、司祭の独身性、同性愛、奴隷貿易、解放の神学、難民問題、少数民族問題、またあえて入れれば感染症問題など、いずれも人類が解決しなければならない問題です。

第11. マリア会（男子修道会）（The Society of Mary）

- 1. 設立年 フランスのボルドー市において1817年10月2日
- 2. 設立者 ギョーム・ヨゼフ・シャミナード（Chaminade）
- 3. 日本への進出

1887年12月に2名、翌1888年1月に3名の会員が横浜に上陸して、日本におけるマリア会の歴史がスタートしました。

#### 4. 日本における歩み

- (1) 1888年 暁星修道院・暁星学園創立（東京）
- (2) 1892年 海星修道院・海星学園創立（長崎）
- (3) 1898年 明星修道会・明星学園創立（大阪）
- (4) 1924年 シャミナード修道院（地区本部修道院）創立
- (5) 1946年 光星修道院創立、光星学園マリア会に移管

### 第12. サレジオ会 (Salesians of Don Bosco)

1. 略称 S. D. B.

2. 設立年 1859年12月18日

3. 設立者 聖ヨハネ・ボスコ

4. 種類 カトリック教会の修道会

5. 会員数はイエズス会に次ぐと言われている。

6. 創立者 ヨハネ・ボスコ (Bosco of St. John) (1815-88)

創立者ヨハネ・ボスコは1815年8月16日、北イタリア、ピエモンテ州に生まれ、当時サルデーニヤ王国の首都トリノで司祭に叙階されました。19世紀後半のリソルジメント (Risorgimento, 再興の意) と産業革命の中を青少年たちが放置される現実に直面し最も貧しい青少年たちのために生涯を授けることを決意して、1859年にサレジオ会を設立しました。

7. サレジオ会の名称は、宗教改革期にカルヴァン派の拠点ジュネーヴで活躍した北イタリア出身の司教、聖フランシスコ・サレジオ (1567-1622) に由来します。

8. サレジオ会の日本での活動は、1926年に始まりました。ラヴェンナ出身のカトリック司祭ヴィンチェンツォ・チマッティ神父を団長とする宣教師団が宮崎へ到着しました。

(1) 1928年 出版事業のためにドン・ボスコ社を設立しました。

(2) 1932年 宮崎救護院 (後のカリタスの国) を開設しました (Caritas はアガペーのラテン語訳です)。

(3) 1934年 東京育英工芸学校 (後のサレジオ工業高等専門学校) を創立しました。

(4) 1937年 カリタス修道女会を創立しました。

(5) 1940年 東京に星美学園創立

(6) 1946年 戦災孤児救済のため、中津ドン・ボスコ学園、東京サレジオ学園を開設しました。

(7) 1950年 大阪星光学院中学校・高等学校を創立しました。

(8) 1960年 目黒サレジオ中学校・高等学校を創立しました。

9. Wikipedia にドン・ボスコの予防教育法として、次の記事が出ています。そのまま引用します。

(1) 慈愛の姿勢をもつこと

ドン・ボスコは、教育者は若者を愛し、若者に愛される存在であるべきであると考えました。青少年との友情を育むため、豊かな創造性と柔軟性を備え、慈愛の姿勢をもつことが大切であるとしました。



## (2) 対話を通して信頼関係を築くこと (道理)

ドン・ボスコは、対話を通して、青少年が納得し自由な心で教育者に協力する関係を教育の大前提としました。そして、その信頼関係の上で、若者と責任を分かち合いました。

## (3) 新しい人間像を示して教育すること (信念・信仰)

ドン・ボスコの教育の信念は、いうまでもなくキリストとの関係に根ざすものです。それゆえ、キリストが自らをもって示す新しい人間像、「父である神に愛されている、自由でかけがえのない存在」の実現を目指して教育することを目標とし、信仰を土台に置きました。

### 第13. 神の愛の宣教者会

マザー・テレサは、旧ユーゴスラビア (現マケドニア) でアルバニア人を両親として生まれました。本名をアグネス・ゴンジャ・ボヤシユ (A. G. Bojaxhiu) といいます。幼い時に神父からインドの貧困の話聞き、心に留めていましたが、1928年、修道女をインドへ派遣しているアイルランドのロレット修道院に入会しました。翌年ベンガル宣教区へ派遣されました。マザー・テレサは、カルカッタの聖マリア高校で地理の教員となり校長まで務めました。

1948年にローマ教皇から修道院を離れて暮らす許可を得ると、インド国内で医療訓練を終え、マザー・テレサは一人でコルカタの街に入りました。スラム街で青空学校を開設し、次々と協力者が現われました。

カルカッタ市内でのテレサの活動の評判が教皇庁へ伝わり、1950年には12名のシスターの生活共同体が「神の愛の宣教者会」(Constitutions of the Society of the Missionaries of Charity) として認可されました。そして創立者として「マザー・テレサ」と呼ばれました。そして国籍もインドへ移しました。

その後、親に捨てられた乳幼児たちを世話する「こどもの家」、医療施設「死を待つ人びとの家」、車での移動診療所、ハンセン病患者と家族が一緒に暮らす「平和の村」などを設立しました。

1979年にはノーベル平和賞受賞。1997年に87才で逝去すると国家元首ではないのにも拘らず、インドの国葬となりました。

### 第14. アトス山 (Athos, Mount)

#### (1) 位置・地勢

アトス半島は、マケドニア地方からエーゲ海に突き出したハルキディキ半島から分かれる三つの半島のうち、最北東の突出部にあります。幅5-10km、長さ45kmの土地は、東方正教会の修道共和国で聖山アトスと通称されています。「アトス」は半島南端、標高2033メートルの山の名に由来します。アトス山から連なる峻険な稜線によって形成されるアトス半島の海岸は、ほとんどが崖から成り立っており、ギリシャ本国と陸路でつながっているものの、ウラノポリと言うところから船か徒歩でのみ入国が可能です。

#### (2) 歴史と現状

アトス山に修道士が住み始めたのが何時か、正確には不明ですが、9世紀初頭にはいくつかの修道共同体が存在したことは、文献に残っています。

963年にはビザンティン皇帝の寄進を受けて、アトスの聖アタナシオ

スが大スラブ修道院を創建し、今日に至るまでスラブがアトスの筆頭格を保っています。

1001年には46の修道院を数えるほどになり、多くの修道院が半島の外に荘園を抱える大領主の様相を呈していました。

1204年、第4回十字軍によってラテン帝国が成立したことにより、テッサロニキ王国に組み込まれたアトス半島は、ほとんどの修道院が荘園を没収されてしまいました。

1382年になると、アトス山はオスマン帝国の支配下に入り、1453年には東ローマ帝国が滅亡し、修道院は免税特権と半島以外の荘園を失うことになりました。オスマン帝国は修道院共同体の宗教活動と自治を認め、1406年から女人禁制となりました。

1923年、希土戦争の終結によってローザンヌ条約が締結され、トルコ、ギリシャ間で住民交換が行なわれ、ギリシャ政府は移住した住民の居住地を確保するため、アトス山の土地を大幅に没収しました。さらに1944年に枢軸国であったブルガリア王国がソビエト連邦の侵攻を受けた際、アトス山は共産主義からの弾圧を受け、ほぼ壊滅状態に陥りました。現在は、ヨーロッパ各地からの支援によって宗教活動を行っています。現在、アトス山の人口は約2,250人だそうです。バチカンと同じく宗教中心として自治を行っているが、アトス山は、より厳格な瞑想と祈りの場であるため、バチカンのような経済活動を行っていません。(Wikipedia アトス山参照)

#### 第15. モン・サン・ミシェル (Mont Saint-Michel)

1. フランス北部の沖合の岩石からなる島に、小聖堂が8世紀にアヴランシュ(Avranches) 司教聖オベール (Aubert) により、夢に現れた聖ミカエル (ミシェル) の命に従って建てられました。966年にベネディクト会の修道院が創設されました。
2. 聖堂は922年焼失、1023年より再建が開始、11世紀末に一応完成、その後部分的に改築、13世紀初頭、構造の大胆さゆえに「ラ・メルヴェュー (驚異)」と呼ばれる3層構造の修道院主要部分が建設されました。
3. 百年戦争の期間は島全体が英仏海峡に浮かぶ要塞の役目をしました。モン・サン・ミシエルの入口には今もイギリス軍が捨てていった大砲とその砲弾が残っています。1421年に聖堂内陣が倒壊し、48年より再建が始まりました。
4. フランス革命に際し修道院は解散し、1863年までは国の監獄として使用されました。その後荒廃していましたが、ヴィクトル・ユゴーの紹介がナポレオン3世を動かし、1865年に再び修道院として復元され、ミサが行われるようになりました。
5. 19世紀には陸との間に堤防を造成して鉄道・道路ができ陸続きとなりました。その後鉄道は廃止となりました。
6. 1979年にはユネスコの世界遺産に登録されました。2006年8月日現在、3人の修道士は在住し、9人の修道女が近隣の町から通って、運営に当たっています。

(2021年1月21日脱稿)

## 吉原佐知子箏リサイタルのお知らせ

純正律音楽研究会 正会員  
箏奏者 吉原佐知子

皆様こんにちは、この度、私の箏リサイタルを以下の通り開催する運びとなりました。この場で宣伝させていただきます。

助演には、当会代表の水野佐知香先生にもお願いして、玉木先生の二つの舞を演奏いたします。

コロナ禍で情勢が分かりませんが、インターネット視聴券もご用意してしますので、皆様のご都合にあわせてご覧いただければ幸いです。

第三回 吉原佐知子 箏リサイタル ～伝統を未来に～

開催日：2021年5月21日金曜日

開演：18時30分 開場：17時30分

会場：銀座王子ホール(中央区銀座4-7-5)

チケット：4,000円(事前申し込みが必要です)

インターネット視聴券：2,500円(オンデマンド期間限定配信)

予定曲目：ロンドンの夜の雨(宮城道雄作曲)、蘇る五つの歌(沢井忠夫作曲)  
二つの舞(玉木宏樹作曲)、他

お問い合わせ：吉原佐知子 [sachikoto\\_2006@hotmail.co.jp](mailto:sachikoto_2006@hotmail.co.jp)

よろしくお願い申し上げます。

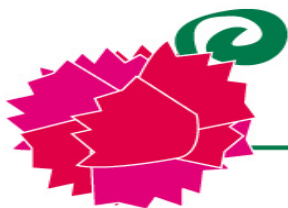
## 今後のスケジュール

### 【癒しの音楽コンサート】

2021年6月5日(土曜日)14時開演

開場：けやきホール

出演：水野佐知香(ヴァイオリン)、三宅美子(ハーブ)、吉原佐知子(箏)



おたより募集！

会報のご感想、ご意見、純正律音楽にまつわること等々、なんでもお寄せ下さい。たくさんのお便りを、お待ちしております。

次号の【ひびきジャーナル】にてご紹介させて頂きたいと思っております。  
〒168-0072

東京都杉並区高井戸東3-2-5-102 NPO法人 純正律音楽研究会

お電話：03-5317-0291 FAX：03-5317-0289

e-mail：puremusic0804@yahoo.co.jp <http://just-int.com/>

2021年2月15日 発行責任者：NPO法人 純正律音楽研究会 編集 相坂政夫

\*純正律音楽研究会 YouTube チャンネルを開設しました。

コンサートやCD紹介の映像が当会ホームページからご覧いただけます。

<http://just-int.com/>